

LIBRARY通信12月号

令和6年12月2日(月)発行 大田区立志茂田中学校 読書学習司書 関二三枝



◆人権について考えてみませんか？(人権週間12/4～12/10)

「人権」とは何でしょ？

「基本的人権」とは「人間が人間らしく生きるために生まれながらにして持っている権利」です。(『人権の絵本第6巻』岩部泰史/著・大月書店)

1948年に国連が定めた世界人権デー(12/10)の前1週間を日本では1949年から「人権週間」に定めました。



月	火	水	木	金
12月2日	12月3日	12月4日	12月5日	12月6日
開館	開館	開館	開館	休館
*人権週間 [12/4～12/10]				
12月9日	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日
特別貸出開始	開館	専門委員会	開館	休館
開館	開館	開館	開館	休館
12月16日	12月17日	12月18日	12月19日	12月20日
開館	開館	開館	開館	休館
12月23日	12月24日	12月25日		
開館	開館	終業式	開館	
*冬休み中は休館します。[12月26日(木)～1月7日(火)]				

人権について考えてみようコーナーが志茂田中学校の図書館にできました。すでに関心をもっている人もいるようですね。一般的な「人権尊重」のテーマは女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人などがあり、2011年にインターネットによる人権侵害、北朝鮮による拉致問題などが加わりました。(『現代用語の基礎知識 2024』自由国民社)

志茂田中学校では今年3月に行われた「いのちの授業（生命尊重週間）」の講演で「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（家族会）」代表の横田拓也さんが3年生に向けて話されました。横田さんは1997年、北朝鮮に拉致された横田めぐみさん（当時中学1年生）の弟さんです。現在も救出されないまま、めぐみさんの「人権」は奪われ続けています。

人権について考えてみようコーナーはこの講演をきっかけに様々な人権について学ぼうということで設けられました。ぜひ関心をもって見てください。



*開館日時が変更になる場合は
図書館入り口にお知らせします。

学校図書館利用

[開館日] 月～木曜日
(金曜日休館)

[開館時間]
昼休み・放課後 17時まで

[貸出冊数・期間]
1人3冊まで・2週間貸出
★夏休み、冬休み前は
1人5冊まで

◆冬休み特別貸出

冬休みの読書のために特別貸出します。気になっていたけれど読む時間がないから…と諦めていた長編作品やシリーズ作品、文豪作品などをじっくりまとめて読むチャンスです。5冊まで借りることができますので、冬休み中の読破にチャレンジしてみませんか？

[貸出期間] 12月9日(月)～12月25日(水)

[返却日] 1月9日(木)

[貸出冊数] 1人5冊まで



◆返却を忘れている本はありませんか？

学校図書館の開館は12/25(水)終業式の日までです。

返却を忘れている本はありませんか？読み終えていない場合は一度返却してから、もう一度借りてください。

新着情報

今月は冬休みにおススメしたい本の紹介です。

LIBRARY 通信で紹介した本コーナーにあります。

(図書館に入った右側)

新着本コーナーもチェックしてみてください。



[成瀬は信じた道を行く] 宮島未奈/著 新潮社 (913み)

知らぬ間に多くの人に影響を与えながら、我が道を突き進む成瀬あかり。幼馴染の島崎が故郷に帰ると、成瀬が書置きを残して失踪しており…!? 「成瀬は天下を取りにいく」の続編。

[サメのアゴは飛び出し式] 川崎悟司/著 SBクリエイティブ (487か)

ウツボ、イモリ、ティラノサウルス、ダチョウ、カモノハシ…。脊椎動物たちは体の形をどのように変えて適応していったのか。ヒトの体を変形させたイラストで、動物たちの進化を紹介する。



[ジョン] エマニュエル・ブルディエ/著 あすなろ書房 (953ぶ)

母への強い愛情、伯母との暮らし、ハーモニカが引き合わせた運命の出会い…。悪ガキだった10歳のジョン・レノンが「アーティスト」になるきっかけと、ポール・マッカートニーとの運命的な出会いを果たすまでの物語。



[手の倫理] 伊藤亜紗/著 講談社 (141い)

人が人の体にさわる/ふれるとき、そこにはどのような緊張や信頼、あるいは交渉や譲歩が交わされているのか。さまざまな場面における手の働きに注目しながら、そこにある触覚ならではの関わりのかたちを明らかにする。



[今宵も喫茶ドードーのキッチンで。] 標野凪/著 双葉社 (913し)

住宅地の奥でひっそりと営業している、おひとりさま専用カフェ「喫茶ドードー」。店主そろりの美味しい料理が、毎日がんばる人の疲れた体と強ばった心を優しくほぐし…。心がくつろぐ連作短編集。目次に並ぶカフェメニューに惹かれてページをめくってしまう。



[参考:Book データベース]

詩人の谷川俊太郎さん(92歳)が11月13日に亡くなられました。志茂田中学校の図書館にある谷川さんの作品を集めて展示しています。ご覧ください。